

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 26 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|--------------------------------|
| 小委員会名 | 固体音小委員会 | 主 査 名：平光 厚雄 就任年月：2021 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 環境工学委員会 (音環境運営委員会) | 委員長名：秋元 孝之 主 査 名：坂本 慎一 |
| 設 置 期 間 | 2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>ボール衝撃源とタイヤ衝撃源の測定値、評価量の関連性の分析、整理を進める。 また、A 特性床衝撃音レベルの予測計算における課題の抽出、整理する。 初年度～2 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール衝撃源による A 特性床衝撃音レベルの予測計算における課題のケーススタディによる抽出、整理。 ・タイヤ衝撃源とボール衝撃源による重量床衝撃音の関係性の分析、整理。 ・ISO 16283-2 (現場における床衝撃音の測定法) の調査、海外の研究動向調査。 <p>3 年度～4 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固体音予測計算手法に関する検討 ・成果公表に向けた議論・まとめと公表 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | |
| | 主査：平光厚雄 (国総研) 幹事：田中ひかり (大成建設)、平川侑 (建研) 委員：朝倉巧 (東京理科大学)、稲留康一 (奥村組)、井上勝夫 (日大理工)、岩本毅 (三井住友建設)、漆戸幸雄 (フジタ)、笠井祐輔 (日総試)、中澤真司 (鉄建建設)、濱田幸雄 (日大工)、藤橋克己 (前田建設)、矢入幹記 (鹿島建設)、山内崇 (戸田建設) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 無 | |
| 2021 年度予算 | 45,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無 |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 6 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | 無 |
| 講習会 | 無 |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | 無 |
| 大会研究集会 | 無 |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | 無 |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係) | 1. 複数の手法で駆動点インピーダンス予測計算の整理を行った。 2. インピーダンス予測手法や CLT 床の床衝撃音などの情報共有を行った。 3. 2022 年度大会の OS の内容について検討を行った。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. コロナ禍における、小委員会の効率的なリモート開催および活動の活性化 |

2021 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 ・ 最終年度評価)

| 総合評価 (4 段階評価) | A | B | C | D |
|---------------------------------|--|---|---|---|
| 総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 複数の手法で駆動点インピーダンス予測計算の整理を行った。 2. インピーダンス予測手法や CLT 床の床衝撃音などの情報共有を行った。 3. 2022 年度大会の OS の内容について検討を行った。 4. コロナ禍であったが、6 回（予定含）の小委員会を開催することができた。 | | | |

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。